

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 特定非営利活動法人 地球学校

1. 事業名称

外国につながる子どもたちの日本語支援「地球っ子教室」

2. 事業の目的

「地球っ子教室」は、親の都合で日本にやってきた外国につながる子どもたちが対象である。

日本語を母語としない子どもたちの日本語習得の支援および日本語運用力の向上、それぞれが円滑な学校生活を送れるようになること、子どもたちの居場所づくりを目的とする。

3. 事業内容の概要

①日本語教室の設置・運営 : 計36回

毎週土曜日と夏休みに外国につながる子どもたちを対象とした日本語習得のための支援を行う。

②日本語教育を行う人材の養成・研修の実施 : 計6回

日本語教師をはじめとする指導者を対象に、外国につながる子どもたちが学校生活を円滑にできるコミュニケーションの取り方を学び、日本語指導に生かすための研修を実施する。

③日本語教育のための学習教材の作成 : 計2教材

学校生活にかかわる文書の理解につながる文章の書き換え教材を複数作成する。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 運営委員会報告						
事業名称:外国につながる子どもたちの日本語支援「地球っ子教室」						
団体名:NPO法人地球学校						
運営委員数:5名						
運営委員会開催回数:3回						
回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年7月8日 13:00~15:00	2時間	かながわ県民センター 709	坂内泰子・樋口万喜子・古屋恵子 辻 雅代・丸山伊津紀	①2012年度の教室活動 ②文化庁の委託事業関連説明 ③「漢字王決定戦」について	①今年度の4月から3月までの活動予定説明 社会科見学報告・教室活動「漢字王決定戦」の開催日 ②カリキュラムについて。教材作成に書かわる著作権問題についてのアドバイス ③非漢字圏の子供達に対する漢字誤用調査について
2	平成24年10月6日 13:00~15:00	2時間	かながわ県民センター 703	坂内泰子・樋口万喜子・古屋恵子 辻 雅代・丸山伊津紀	①夏休み教室報告および第10回漢字王決定戦報告 ②文化庁関連の教材作成の経過報告 ③教室の動向について	①第10回漢字王決定戦内容。教材に掲載する無料の写真についての情報など。 ②横浜市消防局の「減災行動のススメ」の書き換え進行状況・地球っ子教室独自のイラストの挿入について ③中学生の参加増加傾向:中学生を対象としてキャリアデザイン学習の会は?。教室に参加する学生やボランティアが増えている状況説明
3	平成25年2月10日 10:15~12:15	2時間	かながわ県民センター 603	坂内泰子・樋口万喜子・古屋恵子 辻 雅代・丸山伊津紀	1-① 教室の現状 1-② 文化庁委託事業進捗状況・報告 1-③ 漢字教材について 2 2013年度の計画について	1-①参加生徒数・登録数・担当者数の報告 1-②公開講座全6回終了報告・教材の書き換え(「減災行動のススメ」「わたしたちの横浜」)と教案作成 1-③漢字王決定戦問題の傾向・過去に行った問題内容について説明 2 2013年度の活動:文化庁の委託ではなくなる旨説明、他の助成金申請について

【写真】



5. 日本語教室の設置・運営

(1) 講座名称

外国につながる子どもたちの日本語支援「地球っ子教室」

(2) 目的・目標

目的：日本語を母語としない子どもたちの日本語習得を支援すること。

目標：日本語運用力向上、円滑な学校生活構築への支援、居場所づくり。

(3) 対象者

外国につながる小学生、中学生・中学卒業生、高校生

(4) 開催時間数(回数) 82 時間 (全 36 回)

(5) 使用した教材・リソース

「こどものにほんご1・2」「こどものにほんごドリル1・2」「みんなの日本語」「みんなの日本語文型練習帳」「カタカナドリル」「ことば練習帳」「ことばの地図」「初級日本語文法総まとめ20」「かんじだいすき1～6・かんじだいすき国語算数編・かんじだいすき理科社会編」「教科につながる語彙」「言葉のテーブル」「各教科書」地球っ子教室オリジナル漢字教材

(6) 受講者の総数 44 人

(出身・国籍別内訳：中国 38 人・台湾 1 人・フィリピン 5 人)

(7) 受講者の募集方法

- ・横浜市立の小学校、中学校、公共施設 合計 30 校に教室のちらしを学期の節目ごとに年間 5 回送付。
- ・地球学校の HP に記載
- ・横浜市の国際交流協会等の HP などインフォメーションに記載

(8) 日本語教室の具体的内容

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム取組内容												
事業名称:外国につながる子どもたちの日本語支援「地球っ子教室」												
団体名:NPO法人地球学校												
取組名:外国につながる子どもたちの日本語教室の設置運営												
実施期間:平成24年6月30日～平成25年3月2日												
回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者数	講師又は指導者名	補助者数	補助者	備考
1	平成24年6月30日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民センター 702・709	3人	中国(3人)	学校のスピーチ 初級日本語練習	学校の授業準備「わたしの国中国」スピーチ 下書き・います・あります表現練習 ・反対の意味の言葉 など。	3人	押野成美・辻雅代・諸岡宣夫			こどものにほんご ことばの練習帳
2	平成24年7月7日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民センター 702・703	2人	中国(2人)	初級日本語文法・構文練習	・～は～で～に行きます構文 ・会話練習 ・カタカナ練習	2人	辻雅代・寺井和子			こどものにほんご ことばの練習帳 カタカナ練習帳
3	平成24年7月14日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民センター 702・703	2人	中国(2人)	初級日本語文法・構文練習	・～は～で～に行きます構文、動詞文 ・会話練習 ・カタカナ練習	2人	押野成美・小林とも子			こどものにほんご ことばの練習帳 カタカナ練習帳

4	平成24年7月 23日 10:00～13:00	3時間	神奈川県民 センター 711	10人	中国(8人) フィリピン(2 人)	初級日本語文 法・構文練習 作文 宿題取り組み 音読・会話	・初級日本語:動詞の入った構文、形容詞文 ・学校のプリント ・教科書の読解 ・作文 ・学校の宿題・苦手科目復習	7人	小河千咲子・押野成 美・木口深雪・小林節 子・辻雅代・廻谷朋 美・吉田涼子	1人	長井都	子どものにほんご ことばの練習帳 カタカナ練習帳 みんなの日本語1 文型練習帳 学校 の宿題
5	平成24年7月 23日 13:00～16:00	3時間	神奈川県民 センター 711	18人	中国(16人) フィリピン(2 人)	初級日本語文 法・構文練習 作文 宿題取り組み 音読・会話	・初級日本語:動詞の入った構文、形容詞文 ・学校のプリント ・教科書の読解 ・作文 ・学校の宿題・苦手科目復習	8人	小河千咲子・押野成 美・木口深雪・小林節 子・辻雅代・寺井和 子・吉田涼子・吉田貴 代子	1人	長井都	子どものにほんご ことばの練習帳 カタカナ練習帳 みんなの日本語1 文型練習帳 学校 の宿題
6	平成24年7月 24日 10:00～13:00	3時間	神奈川県民 センター 711	9人	中国(6人) フィリピン(2 人) 台湾(1人)	初級日本語文 法・構文練習 作文 宿題取り組み 音読・会話	・初級日本語:動詞の入った構文、動詞変化・ 助詞 ・学校のプリント ・教科書の読解 ・簡単な日本語文章読解 ・作文 ・学校の宿題	7人	押野成美・小林とも 子・辻雅代・寺井和 子・丸山伊津紀・吉田 涼子・吉田貴代子	1人	長井都	子どものにほんご ことばの練習帳 カタカナ練習帳 みんなの日本語1 文型練習帳 学校 の宿題
7	平成24年7月 24日 13:00～16:00	3時間	神奈川県民 センター 711	20人	中国(16人) フィリピン(3 人) 台湾(1人)	初級日本語文 法・構文練習 作文 宿題取り組み 音読・会話	・初級日本語:動詞・形容詞の入った構文、動 詞変化・形容詞変化・助詞 ・学校のプリント ・教科書の読解 ・簡単な日本語文章読解 ・作文 ・学校の宿題	7人	押野成美・小林とも 子・辻雅代・寺井和 子・丸山伊津紀・吉田 涼子・吉田貴代子	2人	長井都・寺井 藤香	子どものにほんご ことばの練習帳 カタカナ練習帳 みんなの日本語1 文型練習帳 学校 の宿題
8	平成24年7月 25日 10:00～13:00	3時間	神奈川県民 センター 708・709	11人	中国(9人) フィリピン(2 人)	初級日本語文 法・構文練習 作文 宿題取り組み 音読・会話	・初級日本語:動詞の入った構文、動詞変化・ 形容詞変化・助詞 ・学校のプリント ・教科書の読解 ・簡単な日本語文章読解 ・作文 ・学校の宿題	7人	内山美智代・柏野一 枝・小林節子・小林と も子・辻雅代・廻谷朋 美・吉田貴代子	1人	長井都	子どものにほんご ことばの練習帳 カタカナ練習帳 みんなの日本語1 文型練習帳 学校 の宿題
9	平成24年7月 25日 13:00～16:00	3時間	神奈川県民 センター 708・709	17人	中国(14人) フィリピン(3 人)	初級日本語文 法・構文練習 作文 宿題取り組み 音読・会話	・初級日本語:動詞・形容詞の入った構文 ・学校のプリント ・教科書の読解 ・簡単な日本語文章読解 ・作文 ・学校の宿題	8人	内山美智代・小河千 咲子・柏野一枝・小林 節子・小林とも子・辻 雅代・廻谷朋美・吉田 貴代子	1人	寺井藤香	子どものにほんご ことばの練習帳 カタカナ練習帳 みんなの日本語1 文型練習帳 学校 の宿題
10	平成24年8月 20日 10:00～13:00	3時間	神奈川県民 センター 711	11人	中国(8人) フィリピン(3 人)	初級日本語文 法・構文練習 作文 宿題取り組み 音読・会話	・初級日本語:動詞・形容詞の入った構文～ 国文法との関連 ・学校のプリント ・教科書の読解 ・作文 ・学校の宿題	6人	押野成美・小林節子・ 小林とも子・辻雅代・ 吉田貴代子・吉田涼 子	2人	長井都・東山 楓	子どものにほんご ことばの練習帳 カタカナ練習帳 みんなの日本語1 文型練習帳 学校 の宿題
11	平成24年8月 20日 13:00～16:00	3時間	神奈川県民 センター 711	18人	中国(15人) フィリピン(3 人)	初級日本語文 法・構文練習 作文 宿題取り組み 音読・会話	・初級日本語:動詞・形容詞の入った構文～ 国文法との関連 ・学校のプリント ・教科書の読解 ・作文 ・学校の宿題	6人	押野成美・小林節子・ 小林とも子・辻雅代・ 吉田貴代子・吉田涼 子	2人	長井都・東山 楓	子どものにほんご ことばの練習帳 カタカナ練習帳 みんなの日本語1 文型練習帳 学校 の宿題
12	平成24年8月 21日 10:00～13:00	3時間	神奈川県民 センター 708・709	12人	中国(9人) フィリピン(3 人)	初級日本語文 法・構文練習 作文 宿題取り組み 音読・会話	・初級日本語:動詞・形容詞の入った構文～ 国文法との関連 助詞の使い方 ・学校のプリント ・教科書の読解 ・作文 ・学校の宿題	8人	押野成美・木口深雪・ 柏野一枝・小林とも 子・辻雅代・寺井和 子・丸山伊津紀・吉田 貴代子	2人	長井都・東山 楓	子どものにほんご ことばの練習帳 カタカナ練習帳 みんなの日本語1 文型練習帳面
13	平成24年8月 21日 13:00～16:00	3時間	神奈川県民 センター 708・709	14人	中国(11人) フィリピン(3 人)	初級日本語文 法・構文練習 作文 宿題取り組み 音読・会話	・初級日本語:動詞・形容詞の入った構文～ 国文法との関連 助詞の使い方 ・学校のプリント ・教科書の読解 ・作文 ・学校の宿題	7人	押野成美・木口深雪・ 小林とも子・辻雅代・ 寺井和子・丸山伊津 紀・吉田貴代子	2人	長井都・東山 楓	子どものにほんご ことばの練習帳 カタカナ練習帳 みんなの日本語1 文型練習帳 学校 の宿題
14	平成24年9月1 日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民 センター 711	8人	中国(5人) フィリピン(3 人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・ひらがな、カタカナの書きと読み ・教科の言葉	6人	小林節子・小林とも 子・辻雅代・寺井和 子・吉田貴代子・吉田 涼子	2人	桑山安代・長 井都	子どものにほんご ことばの練習帳 ことばの地図 みんなの日本語1 文型練習帳 教科書
15	平成24年9月8 日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民 センター 601・710	6人	中国(5人) フィリピン(1 人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・ひらがな、カタカナの書きと読み ・教科の言葉 ・国文法と日本語文法の関連 ・漢字の読みと書き	4人	小河千咲子・押野成 美・小林とも子・辻雅 代	2人	長井都・金子 浩子	子どものにほんご ことばの練習帳 ことばの地図 みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 国文法ドリル
16	平成24年9月 15日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民 センター 711	13人	中国(11人) フィリピン(2 人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・ひらがな、カタカナの書きと読み ・教科の言葉 ・国文法と日本語文法の関連 ・漢字の読みと書き	6人	小河千咲子・押野成 美・小林とも子・辻雅 代・寺井和子・吉田涼 子	2人	桑山安代・金 子浩子	子どものにほんご ことばの練習帳 ことばの地図 初級日本語文法総 まとめ20 みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 国文法ドリル
17	平成24年9月 22日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民 センター 703・705	5人	中国(3人) フィリピン(2 人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・ひらがな、カタカナの書きと読み ・教科の言葉 ・国文法と日本語文法の関連 ・漢字の読みと書き	5人	押野成美・小林節子・ 小林とも子・辻雅代・ 寺井和子			子どものにほんご ことばの練習帳 ことばの地図 みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 国文法ドリル 漢字プリント

18	平成24年9月 29日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民 センター 711	14人	中国(13人) フィリピン(1人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・日付・時間表現と会話練習 ・教科の言葉 ・国文法と日本語文法の関連 ・漢字の読みと書き	6人	大村礼子・押野成美・ 小林とも子・辻雅代・ 吉田貴代子・吉田涼 子	2人	桑山安代・金 子浩子	子どものほんご こどもにほんご宝 島 初級日本語文法総 まとめ20 みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 国文法ドリル 漢字プリント
19	平成24年10月 13日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民 センター 711	18人	中国(15人) 台湾(1人) フィリピン(2人)	漢字学習 ・ 算数・理科に関 連する問題 ・ 画数問題 漢字ビンゴ問題	・ 教室活動「第10回漢字王決定戦」 ・3グループに分かれての漢字学習会	8人	一之瀬快朗・小河千 咲子・押野成美・影嶋 知香子・辻雅代・丸山 伊津紀・吉田貴代子・ 吉田涼子	2人	桑山安代・長 井都	地球っ子教室オリ ジナルの漢字教材
20	平成24年10月 13日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民 センター 702・703	14人	中国(14人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・あげます・もらいます表現と会話練習 ・教科の言葉 ・国文法と日本語文法の関連 ・漢字の読みと書き	6人	大村礼子・押野成美・ 木口深雪・小林節子・ 小林とも子・吉田涼子	1人	長井都	子どものほんご 初級日本語文法総 まとめ20 みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 国文法ドリル 漢字プリント
21	平成24年10月 20日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民 センター 711	15人	中国(13人) フィリピン(2人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・～は～でいきます・きます・かえります表現 と会話練習 ・教科の言葉 ・国文法と日本語文法の関連 ・漢字の読みと書き	4人	押野成美・小林節子・ 小林とも子・辻雅代	2人	長井都・呉珊 珊	子どものほんご カタカナドリル ことばのテーブル みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 国文法ドリル 漢字プリント
22	平成24年10月 27日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民 センター 711	3人	中国(3人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・～は～でいきます・きます・かえります表 現、やりもらい表現と会話練習 ・教科の言葉 ・漢字の読みと書き	3人	押野成美・辻雅代・寺 井和子			こどものほんご 教科書 みんなの日本語1 文型練習帳
23	平成24年11月 3日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民 センター 711	11人	中国(10人) フィリピン(1人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・自動詞・他動詞の理解と会話練習 ・カタカナの読みと書き ・教科の言葉 ・漢字の読みと書き	5人	小河千咲子・押野成 美・小林節子・小林と も子・辻雅代	1人	長井都	子どものほんご 初級日本語文法総 まとめ20 みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 ことばのテーブル カタカナドリル
24	平成24年11月 10日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民 センター 709・710	12人	中国(11人) フィリピン(1人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・あげます・もらいます表現と会話練習 ・コンソア表現と会話練習 ・カタカナの読みと書き ・教科の言葉 ・漢字の読みと書き	6人	大村礼子・小河千咲 子・押野成美・木口深 雪・小林節子・小林と も子			子どものほんご 初級日本語文法総 まとめ20 みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 ことばのテーブル カタカナドリル
25	平成24年11月 17日 10:00～13:00	2時間	神奈川県民 センター 604	10人	中国(7人) フィリピン(3人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・反対語表現と会話練習 ・カタカナの読みと書き ・教科の言葉 ・漢字の読みと書き	5人	大村礼子・押野成美・ 小林とも子・辻雅代・ 吉田涼子	1人	長井都	子どものほんご 初級日本語文法総 まとめ20 みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 ことばのテーブル カタカナドリル
26	平成24年11月 24日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民 センター 711	8人	中国(8人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習 入試問題過去問	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・副詞表現、好き嫌い・上手下手表現と会話 練習 ・教科の言葉 ・漢字の読みと書き ・入試国語問題読解	6人	足立貞雄・押野成美・ 小林節子・小林とも 子・辻雅代・吉田涼子	1人	長井都	子どものほんご 初級日本語文法総 まとめ20 みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 入試問題集
27	平成24年12月 1日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民 センター 711	6人	中国(4人) フィリピン(2人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習 入試問題過去問	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・教科の言葉 ・漢字の読みと書き ・入試国語問題読解	5人	押野成美・影嶋知香 子・木口深雪・小林と も子・辻雅代	1人	長井都	初級日本語文法総 まとめ20 みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 入試問題集
28	平成24年12月 8日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民 センター 702・703	9人	中国(9人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習 入試問題過去問	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・敬語表現 ・教科の言葉 ・漢字の読みと書き ・入試国語問題読解	7人	足立貞雄・押野成美・ 木口深雪・小林節子・ 辻雅代・寺井和子・吉 田涼子	1人	長井都	初級日本語文法総 まとめ20 みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 入試問題集
29	平成25年1月 12日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民 センター 711	5人	中国(5人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・教科の言葉 ・漢字の読みと書き	5人	大村礼子・押野成美・ 小林節子・小林とも 子・辻雅代			初級日本語文法総 まとめ20 みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 国文法ドリル

30	平成25年1月19日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民センター 711	10人	中国(10人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習 入試問題過去問	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・国文法～動詞の変化 ・教科の言葉 ・漢字の読みと書き ・入試国語問題読解	6人	大村礼子・押野成美・ 木口深雪・小林節子・ 辻雅代・吉田涼子			教科につながる語 彙・漢字ドリル みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 国文法ドリル 入試問題集
31	平成25年1月26日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民センター 711	12人	中国(11人) フィリピン(1人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習 入試問題過去問	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・カタカナの書きと読み ・教科の言葉 ・漢字の読みと書き ・入試国語問題読解	9人	足立貞雄・大村礼子・ 押野成美・影嶋知香 子・小林節子・小林と も子・辻雅代・丸山伊 津紀・吉田貴代子			教科につながる語 彙・漢字ドリル かんじだいすき みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 入試問題集
32	平成25年2月2日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民センター 711	11人	中国(8人) フィリピン(3人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習 入試問題過去問	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・カタカナの書きと読み ・教科の言葉 ・漢字の読みと書き ・入試国語問題読解	7人	足立貞雄・大村礼子・ 押野成美・木口深雪・ 小林節子・辻雅代・寺 井和子	1人	長井都	こどものほんご かんじだいすき みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 入試問題集
33	平成25年2月9日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民センター 705・709	9人	中国(6人) フィリピン(3人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習 面接練習	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・カタカナの書きと読み ・教科の言葉 ・漢字の読みと書き ・入試面接の口頭練習	5人	大村礼子・押野成美・ 小林節子・小林とも 子・辻雅代			こどものほんご かんじだいすき みんなの日本語1 文型練習帳 教科書 入試問題集
34	平成25年2月16日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民センター 711	8人	中国(7人) フィリピン(1人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・カタカナの書きと読み ・教科の言葉 ・漢字の読みと書き	5人	大村礼子・小河千咲 子・押野成美・小林と も子・吉田涼子	1人	長井都	ことばのテーブル かんじだいすき 教科書 国語習熟ドリル こどものほんご
35	平成25年2月23日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民センター 711	7人	中国(7人)	初級日本語 読解・音読・語彙 の習得 会話練習	・日本語文章(教科書)の音読・読解・語彙の 理解 ・カタカナの書きと読み ・教科の言葉 ・漢字の読みと書き	5人	押野成美・小林とも 子・辻雅代・寺井和 子・吉田涼子	1人	長井都	ことばのテーブル かんじだいすき 教科書 国語習熟ドリル こどものほんご
36	平成25年3月2日 13:00～15:00	2時間	神奈川県民センター 711	10人	中国(8人) フィリピン(2人)	漢字学習 算数・理科に関 連する問題・ 書き順 漢字ビンゴ問題	・教室活動「第11回漢字王決定戦」 ・3グループに分かれての漢字学習会	9人	一之瀬快朗・大村礼 子・小河千咲子・押 野成美・木口深雪・小 林節子・小林とも子・ 辻雅代・吉田涼子			地球っ子教室オリ ジナルの漢字教材

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)



月日時	2012 年 9 月 8 日 1 : 00 ~ 2 : 45	場所	県民センター710	通算 2 回目
担当者	担当ア			
生徒名	A さん (小学校 3 年生)			
教材	1 年生の国語の教科書 (上)			
授業内容	○ひらがな・カタカナ五十音の読み ひらがなはすらすらと読んでいました カタカナの表はたぶん流れで読んでいたのだと思う... ○数字を数える 1 から 50 までよどみなく数えることができました ○色 赤・青・黒・緑・白・黄色を確認 筆箱のもの、洋服などを指さしながら「赤いペン」「青い服」 ○身体 of 名称 頭・首・肩・ひじ・ひざ・足・お腹・目・鼻・耳・歯・髪の毛・指 指さしながら確認 ○「あかるい あさひだ あいうえお」 P14-19 音読してもらいました ひらがながだいたい読めていました 意味は絵を見ながら説明しました あひる いるか うちわ えんぴつ おりがみ を書いてもらいました ○P20-21 牧場の絵を見ながら「なにがいますか。」「〇〇がいます。」の練習 「どこにいますか」は難しいようだった ○P22 日本語は文末にまる（。）をつけることを確認 前頁を使って「うさぎがいる。」「うしがいる。」など書いてもらいました ○P32・33 顔の表情の絵を見ながら「わらう」「なく」「おこる」「うれしい」「かなしい」といったことばについて説明しました			
申し送り	＊初めて担当しましたが、とても素直ながんばり屋さんだと感じました ＊お話しは、まだあまりしませんでした、こちらのいうことを理解しているようで笑ってくれるので、これからだんだんお話しもできるようになるのではないかと思います ＊ひらがなをだいぶ覚えていて、大きな丁寧な字を書くのでほめました ＊2 : 4 5 にお父さんがお迎えに来ました			

月日時	2012 年 9 月 15 日 1 : 00~2 : 45	場所	県民センター711	通算 17 回目
担当者	担当イ			
生徒名	B さん (中学 1 年生)			
教材	数学サバイバル日本語、こどものにほんご、小学 4 年国語 (教科書)			
授業内容	●数学サバイバル日本語 P5、6 ・ $2 - (-1)$ や、$-4 - (-7)$ などの計算を数直線を使って、説明。どうしても理解できない模様。どこからわかっていないのかを知るために、どの問題なら解けるのか聞いて、解かせるも、正しく解けない。「平均点」の意味はわかるというものの、平均点の計算は間違えていた。 ●こどものにほんご 2 P203 ・ 日本語をだいぶ読めるようになったことを実感してほしくて、作文「ぼくの春休み」を音読。自信のない単語は、あやふやに発音するので、直しながら、最後まで読みきった。 ●小学 4 年生の国語 ・ 「点字」を紹介するページがあったので、日本の点字は、平仮名を表していること、駅の券売機などに貼られていることを説明。			
申し送り	・ 社会科が嫌い、とよく言いますが、数学も決して得意ではなさそうです。まだ中学 1 年で時間のあるうちに、基礎問題が解けるようにして欲しいと思います。学校で数学がどのあたりまで進んでいるのか把握したいので、期末テストを持ってくるように、伝えました。 ・ 日本語以外の教科も今から勉強しておかないと、高校受験で困ることを伝えると、それは十分わかっているようでした。			

月日時	2012 年 10 月 20 日 1:00~2:45	場所	県民センター711	通算 4 回目
担当者	担当ウ			
生徒名	Cさん (小学校3年生)			
教材	かん字の学しゅう (本人持参) 国語習熟ドリル2年生 にほんご宝島			
授業内容	○本人持参の漢字ドリルをすすめる 大 男 女 手 天 見 学 それぞれの漢字を使った言葉・文を書く ○国語習熟ドリル 「いつ」 「だれが」 短い文章を読んで「いつ」「だれが」に関する質問に答える練習 ○にほんご宝島 ・「あったらいいな」 タイムマシンがあったらどの時代に行きたいか 空が飛べるくつがあったらどこに行きたいか 好きなものがでてくるかばんがあったら何がほしいか ・「もしも・・・」 宇宙人にあったらどうするか 透明人間になったらどんなことをしたいか ・「くらべる」 犬と猫とくらべて いいこと いやなこと 電車と車とどちらがいいか ・・・などのテーマでお話をする			
申し送り	・お勉強に取り組むまでに時間がかかる ・○×などのあそびが好きなので、ドリルを1ページをやっては○×を一回するなどしてなんとかすすめる ・読み書きはあまり好きではないようだが、お話をすることはとても好きなよう ・犬がほしいこと、透明人間になったらお店にこっそり入って好きなアイスクリームを沢山食べたい、自分の国に行きたい、といろんな話しをしてくれた			

(10) 目標の達成状況・成果

- ・ 教室に通う子どもたちの学校の成績が向上：
子どもたちが成績を見せてくれたり、報告してくれたり、・高校入試の合格結果、進学する高校の決定、など。
- ・ 友だちとの円滑なコミュニケーションがとれるように：
部活動や教室での生活が楽しかったという報告、保護者から子どもの様子報告、など。
- ・ 子どもたちの居場所として：
継続して毎週土曜日にやってくる子ども、卒業したあとも後輩指導にあたってくれる子ども、など。

(11) 改善点について

- ・ 教室が学期期間中は週に1回のみなので、勉強の回数としては足りない。
⇒同じ横浜にある、ほかの団体やボランティアとの連携を強めて、子どもたちが複数の場を利用してたくさん勉強できるようにしていきたい。
- ・ 毎週土曜日に教室を開催しているが、学校行事等と重なった時は、極端に参加人数が減ってしまう。
⇒事前に確認をすることで、教室の振り替えを柔軟にとるなど対応したい。
- ・ 教室の確保が次第に難しい状況になっているが確実に予約でき利用できる部屋を確保する必要がある。
⇒たとえば、現在使用している県民センター同様に神奈川県施設である“地球市民かながわプラザ”や、横浜市の施設であるクリーンセンターなど、他の施設で行うことも視野に入れていきたい。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称

2012 年度 NPO 法人地球学校「地球っ子教室」連続講座

(2) 目的・目標

目的：日本語教師が児童生徒対象の日本語支援の方法を学ぶこと

目標：各児童生徒の日本語レベルにあった日本語・学習支援ができること

(3) 対象者

- ・地球っ子教室の支援者
- ・外部の外国につながる子どもたちのための日本語支援ボランティア

(4) 開催時間数(回数) 16 時間 (全 6 回)

(5) 使用した教材・リソース

- ・「外国人児童生徒を教えるためのリライト教材」光元 聰江著
- ・文部科学省 日本語学習補修教材
- ・「かんじだいすき 1～6・国語算数編・社会理科編」 AJALT
- ・社会科教科書(中学生用) 国語教科書(小学生用)
- ・講師作成の独自教材

(6) 受講者の総数 48 人

(出身・国籍別内訳 日本人： 47名 韓国人：1名)

(7) 受講者の募集方法

- ・全国規模の子どもメール(中国帰国者支援HP主催)というMLに講座開催のお知らせを流す
- ・横浜市国際交流協会(YOKE)のMLに講座開催のお知らせを流す
- ・チラシを作成し、横浜市内のラウンジやボランティア団体へ送付する など

(8) 養成・研修の具体的内容

「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム取組内容								様式例
事業名称:外国につながる子どもたちの日本語支援「地球っ子教室」 団体名:NPO法人地球学校 取組名:日本語教育を行う人材の養成・研修の実施 実施期間:平成24年8月26日～平成25年1月26日								
回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	講座名	授業概要	講師名(所属・肩書)	備考
1	平成24年8月26日 13:00～16:45	2時間45分	地球市民かながわ プラザ 創作スタジオ	26人	わかる喜びを子どもたちと共に ～教科書と共に使えるリライト 教材を作ってみよう	講義 ①リライト教材とはどのようなものか。 ②リライト教材の有効性 ③教科書と共に使えるリライト教材の重要性・作成の留意点 ワークショップ:1時間10分 講師解説45分	光元 聰江 :元岡山大学教育学部助教授	欠席 3名
2	平成24年10月21 日 13:00～16:00	3時間	地球市民かながわ プラザ 研修室A	20人	楽しく学習させるための日本語 教材	講義 ①何故楽しい教材が必要なのか。 ②楽しい教材とは・・・(子どものやる気を引き出す) ③教材の見つけ方 ④教材の使い方 物語文と説明文の違い 質疑応答 教材の内覧	頼田 敦子 :横浜市教育委員会 日本語講師 :横須賀市教育委員会 日本語講 師	欠席 7名

3	平成24年11月11日 13:00～16:00	3時間	地球市民かながわ プラザ 研修室A	17人	教科書を使って日本語を教える ～国語課につなげる日本語指導とは	講義 ①子どものたちのための学校生活。友達とのコミュニケーションの大切さについて ②ボトムアップとトップダウン ③中学生の説明文読解の解説 ④日本語教育と共に国語教育がなぜ大切なのか。 ワークショップ 質疑応答	樋口万喜子 :横浜国立大学留学生センター 講師 :上智短期大学 講師	欠席 3名
4	平成24年12月16日 13:00～16:00	3時間	地球市民かながわ プラザ 研修室A	17人	子どもの興味を引き出す日本語活動	講義 ①地域活動にかかってきた自分の体験談 ②参加者によるグループ内で自己紹介…自己紹介の持つ意味とは ③友達とのコミュニケーションを築く言葉の大切さとその欲求 ワークショップ 質疑応答	松尾恭子 :国際日本語普及協会日本語講師 :埼玉県教育局「彩と武蔵の学習帳」作成委員	欠席 5名
5	平成25年1月19日 10:00～12:00	2時間	地球市民かながわ プラザ 研修室A	18人	漢字大好きな子供達に ～日本語の底力をつける漢字学習	講義 ①教材としての「かんじだいすき」:学校での勉強の底力 ②生活言語の語彙を増やす大切さ・構文力・漢字学習と教科学習の関連 ③4技能の「重ね塗り」…何回も学習する重要性	関口明子 :国際日本語普及協会 地域日本語教育担当理事	欠席 3名
6	平成25年1月26日 10:00～12:00	2時間	地球市民かながわ プラザ 研修室A	13人	外国につながる子どもたちと共に ～講座総括	講義 ①日本語支援を必要とする子ども達について ②子どもたちの言語発達 ③学校教育と来日目的・結果としての定住に至る子どもたちの増加について ④母語・母文化の重要性 ⑤日本語学習と教科学習の融合 ⑥子どもたちの前割の大人の連携の必要性 質疑応答	関口明子 :国際日本語普及協会 地域日本語教育担当理事	欠席 8名

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)



地球っ子教室・文化庁委託事業・連続講座記録（第 1 回目）

日時	2012年8月26日(日)13時から 16時45分(予定16時30分)	会場	地球市民かながわプラザ 創作スタジオ
講座名	分かる喜びを子どもたちに～教科書と共に使えるリライト教材を作ってみよう～		
講師	光元 聰江先生（元岡山大学教育学部助教授）		
参加者内訳	【会員】15名	【外部】11名(申込数は13名)	【計】26名
講座内容	13:00～14:40	講義	①リライト教材について リライト教材(国語)考案の背景、音読譜の考案 リライト教材とはどういうものか ②リライト教材の有用性について すべての子どもを「学び合える土俵」に上げる。通常学級に出来る限り早く参加できるよう、取り出し授業(初期学習)は長期化させない。「分かる喜び」が「学ぶ楽しさ」へつながる。また、友だちと認め合いつながらるための「触媒」となる。 ③教科書と共に使えるリライト教材 インクルーシブな授業をつくるために「リライト教材」を 教材研究や課題設定の重要性 リライト教材作成時の留意点
	14:40～14:50	休憩	
	14:50～16:00	ワークショップ	5グループ(各5～6人)に分かれて、ワークショップを行う。教材は「あめ玉」。教材を場面ごとに分担し、日本語レベル0または1の子どもを想定。リライトを行ってみる。はじめに「ねらい」と「めあて」を考え、リライトをしていく。最後に模造紙に書いて発表する。作業している間、講師が各グループをまわって、質問に答えて下さったりアドバイスをして下さる。
	16:00～16:45	講師のコメント	グループごとの発表に対して講師によるコメントがある。子どもの日本語レベルに対してのめあての設定の仕方や、語の選び方、ねらいやめあてがしっかり考えられていれば、リライトもぶれないことなど、具体的に教えていただく。
収益	受講料 一人500円 × 11名 計5500円受領		
その他			

地球っ子教室・文化庁委託事業・連続講座記録（第 4 回目）

日時	2012年11月11日(日) 13時～16時00分(予定16時00分)	会場	地球市民かながわプラザ 研修室A
講座名	教科書を使って日本語を教える～国語科につなげる日本語指導とは～		
講師	樋口 万喜子先生(横浜国立大学留学生センター 講師)		
参加者内訳	【会員】11名	【外部】6名	【計】17名
講座内容	13:00～14:20	講義 (ワークショップを含む)	★外国から来た子どもたちが、その生活の中心である学校生活で、のびのび成長していくために、級友に認められることが重要。そのためには日本語指導と並行して国語科を学んで教育に空白を作らないよう配慮が必要。→国語科につなげる日本語指導を。
			★ボトムアップモデルとトップダウンモデルについて。文字から始めて単語、文章へと読解を進める「読み」の過程をボトムアップといい、反対に読み手の持っている知識をもとにした予測から始めてその予測をテキストに照らして確認していくモデルをトップダウンモデルという。実際に小5の国語教科書から「新しい友達」を材料に体験してみる。(イラストだけを見てそこから何が想像できるか、を言う。)。
			★小学生の国語(物語文)では、中心人物を主語とした単純な文章を見つけ、その述語に線をひく、などの方法で読解を進めるとよい。実際にやってみる。
			★中学生の説明文読解では、中1国語教科書から「ちょっと立ち止まって」を材料に、タイトルやイラストから想像を働かせてみる。また、修飾と被修飾の語の関係(入れ子構造になっている)を理解することがポイントの一つであることを、実際に「絵」を修飾している言葉に線を引いてみて体験する。「富士山」を自由に修飾してみる。
			★教科書を正確に理解するためには、日本語教育で取り上げられる文法事項を見つけ、例文などで確認する。国語教育と日本語教育をリンクさせる。
	14:20～14:30	休憩	
	14:50～16:00	講義 (ワークショップを含む)	★「ちょっと立ち止まって」を材料に、段落ごとにリライトを実際にやってみる。
収益	受講料 一人500円 × 6名 計3000円受領		
その他			

(10) 目標の達成状況・成果

- ・2012 年度の文化庁委託事業として同時に進行していた「地球っ子教室の書き換え教材作成」の実践につながった。
 - ⇒第1回の講師は、書き換え教材の創始者であり、第3回の講師は書き換え教材の実践の第一人者
- ・社会科の地理歴史の語彙指導、内容理解のヒントを生かした漢字教材の開発に密接につながった
 - ⇒第2回の講師による文章の骨組みを視覚化する内容、第5回の講師による「かんじだいすき社会理科編」の使い方指導など
- ・今までにない新しい視点からの教材の導入につながった
 - ⇒第2回の講師による子どもの視点や、第3回の講師によるトップダウンの読解や、第4回の講師による子どもの気持ちに沿った教材活用など
- ・他団体の日本語教師やボランティアとの交流が自然にできた
 - ⇒参加してくださった他団体の方々と同じテーブルでワークショップの活動をしたりすることで、情報交換や問題点の共有ができ、改善方法を話し合えた。

(11) 改善点について

- ・講座開催の周知が遅れたので、開催の2か月前からは周知したいところである。
- ・会場運営、印刷準備等の作業にあたる人員が偏ってしまったので、複数確保したいところである。
- ・2012年度は実践的な講座が中心だったが、実践の礎となり、すべての判断基準の材料となる子どもの第2言語習得理論についての講座の開催なども実施したいところである。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称

- ① 「減災行動のススメ」の外国につながる子ども対象の書き換えとその教案
- ② 「わたしたちの横浜」の外国につながる子ども対象の書き換えとその教案

(2) 対象

外国につながる小学生、中学生

(3) 目的・目標

目的: 文章の内容を理解することから、クラスメートとの情報の共有を可能にする。

目標

- ① 災害が起きた時、子ども一人でいたとしても自分で自分の身を守れるようになる。
防災意識を高め、安全安心できる生活の構築をめざす。
- ② 自分が住む町の歴史を知り、日本人の友達と共通の知識をえて、クラスメートとの間でのコミュニケーションがとれるようになる。

(4) 構成

① 「減災行動のススメ 書き換え版」

1. 地震が起きる前にする行動
2. 地震が起きた時にする行動
3. 地震が起きた後にする行動
4. 用語説明、標識やマーク

② 「わたしたちの横浜 書き換え版」

1. ペリー艦隊がやってきた
2. 横浜開港
3. もののはじめは横浜から

(5) 使い方

① 「減災行動のススメ 書き換え版」の使い方

防災意識を高める講座の設置・・・通常の日本語学習だけではなく、フィールドワークを含めた活動を行う。

② 「わたしたちの横浜 書き換え版」の使い方

- ・ フィールドワークを含めて、自分の住む町の歴史を知ることから、近代化された街の様相だけでなく居住地への関心を高める。
- ・ 居住地への関心を持たせることから、クラスメートとの会話を活発にさせる。
- ・ 自分の住んでいた母国の街と今住んでいる町と比較してクラスメートに話すことにより、コミュニケーションをより深める。

(6) 具体的な活用例

※別途「カリキュラム案」を添付のうえ送付

(7) 成果物の添付

※別途「書き換え版本冊」を添付のうえ送付

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

「地球っ子教室」は、親の都合で日本にやってきた外国につながる子どもたちが対象である。

日本語を母語としない子どもたちの日本語習得の支援および日本語運用力の向上、それぞれが円滑な学校生活を送れるようになること、子どもたちの居場所づくりを目的とする。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

- ・教室活動においては、特に中学生が多く参加した。夏休み以降自ら参加申し込みをしてきた子どもが多数いた。夏休み教室に参加して、なお引き続いて学びたいという意思の表れである。中学3年生の子どもは自らの受験科目を毎週持参し、苦手なところを中心に学び、進学を成し遂げたいという意欲が見受けられた。
- ・教材作成では2つの教材を作成した。横浜市消防局作成の「減災行動のススメ」の本冊は、子ども向けに簡略な表現で作られたものではなく、日本語がまだ十分に身につけていない子どもたちにとっては難しい。横浜市消防局の許可を得て作成した【書き換え版「減災行動のススメ」】は、災害が確実に来るといわれている状況下、子どもたち自身で自分の身を守る方法を学べるものになったと確信している。災害弱者となりがちな「外国につながる子どもたち」が、災害時に自ら安全に行動できるように教室で丁寧な指導をして、日本で安心して暮らして欲しい。横浜市教育委員会作成「わたしたちの横浜」は、横浜市の副読本を教育委員会の許可のもと書き換えを行った。自分の住む町を知ることにより、教室の中だけではなく友だちとのコミュニケーションの助けとして活用したい。子どもたちに共通の知識が生まれることから、子ども自身の成長が見込まれると考える。
- ・研修講座は6回行った。講座のテーマとして、「外国につながる子どもたちへの指導」に絞って、具体的な指導方法を学ぶことができた。大人の指導とは異なる子どものメンタル面への配慮、成長段階にある子どもへの対応など現場で大いに役立つ知識となったという参加者からの声をいただいている。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

- ・標準的なカリキュラムはとくに「子ども」を対象としたものではなく、地域活動などは大人の付き添いがないと難しい。地域の「子ども会」に参加ができるような方法を、わかりやすく伝えられたなら、子ども自身でも参加してみようとするのではないかな。そのことにより、友だちも増え、コミュニケーション能力も向上すると思う。
- ・「わたしたちの横浜」書き換え版では、自分の住む町の歴史を知ることを中心に作成した。目で見ることのできる建物・橋・記念碑などを訪ねることで地域への愛着も芽生えるのではないかな。日本人の友だちと多く交流することで、日本語能力の向上と生活の安定、将来への希望がよりしっかりしたものとなり、ただ受験勉強をするというのではなく進学への意欲が増すように指導したい。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

- ・研修講座では、当教室関係者ではない人が多数参加した。ほかのボランティア団体からの参加者が友達を誘って参加してくれたことがうれしい。
- ・研修講座を通じて、ボランティア同士情報交換をするネットが新たに構築されたことも成果の一つである。今後、情報交換など積極的に行いたい。

・教材作成では、横浜市国際交流協会(YOKE)の協力を得て作成を行った。これからも当団体内だけで考えるのではなく、広い視野からの教材の作成等のアドバイスをいただけるように関係を深めていきたい。

(5) 改善点、今後の課題について

・子どもの指導は大人とは異なる。十分に配慮をした指導を行わなければならないことを講座で学び、指導者の意識の向上の大切さを自覚している。今後もこのような学びの場を設けていきたい。

・教材も、日本人の幼児子供向けの読解教材を利用するのではなく、年齢にあった内容をわかりやすい日本語で書き直したものを作成する難しさと大切さを踏まえて、今後も教材の作成を行っていきたい。

いずれも、委託を受けた今年だけにとどまらず、継続していくことが課題である。

(6) その他参考資料

2012 年度地球っ子教室・連続講座第1回（8月26日） アンケート集計結果

1. この講座を何で知りましたか。

①チラシ（地球学校で）	1
②地球学校または地球学校ホームページ	5
③メールチェーンで	6
内訳・YOKEの横浜国際交流 ML 子どもメール	(5) (2) (複数回答あり)
④その他 会員（知人）からの紹介	5
無回答	2

※①②と無回答は地球学校会員からの回答

2. 参加の動機は何ですか？（複数回答可）

①仕事のため	5
②ボランティア活動に活かすため	11
③これから活動を始めるため	0
④その他 (英語教室で学力の低い子どもに教える参考として)	1
無回答（会員）	3

※ 複数回答あり

3. 現在「外国につながる子どもたちの日本語支援」をしていますか。

はい	15
いいえ	1
無回答（会員）	3

「はい」とお答えの方にはうかがいます。

(1)どのように活動していますか。(複数回答あり)

①マンツーマンで	9
②グループで	7
③その他(コーディネーター)	1
無回答(会員)	3

(2)どこで活動していますか。(複数回答あり)

①学校の日本語教室	3
②地域の日本語教室	4
③教室以外の外国人支援活動	2
④その他 (地球っ子教室、磯子日本語の会、高校、学校 内での取り出し授業、学校内で日本語の個別指 導)	8
無回答	4

4. 内容はいかがでしたか。

①大変役に立った	15
②役に立った	4
③普通	0
④あまり役に立たなかった	0
⑤役に立たなかった	0

大変役に立った(役に立った)と思った点

- レベルにより質問の仕方、答えの導き方の工夫が必要だということが、わかっているようでわかっていなかった。もっと答えやすいようにカードや線を引かせたりシールを使ったりといったことを参考にさせていただきたい。
- 先生のおっしゃった言葉の端々にたくさんヒントがあり、勉強になった。
- 子どもたちは勉強したがっている、新しいことを知りたがっている、との先生のご指摘が心に残った。
- 実際にリライト教材の作り方を学ぶことができた。
- 外国籍の子どもにただ日本語を教えるだけでなく、子どもの人生、将来を考え、丸ごと受け入れるということを改めて考えさせられた。
- 教科書の内容が難しく、どのように教えれば理解してもらえるかと考えていたところだったので、リライトという手段を教えていただき、これからの活動に活かしていけると思った。
- 0レベルといっても一概にシンプルにすればいいというわけではなく、ややチャレンジ的な内容、子どもの思考を促す等、考えに入れるべきこと。
- リライトを作るのに一番大切なのは、子どもが楽しめるものにすること、工夫をすることが大切なんだということを知れたのはよかった。

- リライトをするために「めあて・ねらい」を前もって考えることの重要性がよくわかった。
- 具体的な作業を通してリライトがどういう目的で行われるのかわかった。
- リライトは単に本の内容を理解させるためだけではないのがよくわかった。日本語指導は教科指導と別物ではないことに気づかされた。
- 学校の教室でやっていることに早く慣れてもらう支援を考えるということが印象に残った。
- どの程度掘り下げればいいのか、ということ。
- 実際に作ってみるのはいい勉強だ。小学校5年の教材なら5年の発達段階をみんなで確認してからスタートするとよかったかと思う。

5. その他、何かお気づきの点、感想、ご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。

- グループワークは大変役に立った。活動前にリライトの具体例を見せていただけたとよかったかと思う。
- リライト教材についてはじめて知った。同じ班の方達に教えていただき楽しく勉強ができた。興味をもつことができた。
- ワークショップの発表時間、先生の添削の時間がもう少し長いとメモが取れてよいと思う。
- このような講座をぜひこれからも続けていって下さい。
- リライトする、という手法をはじめて知り、0レベルの子どもにとっても有効だと思った。実践できるように頑張るつもりだ。
- 中学生の教材も扱ってみたい。レベル2・3の教材についても取り上げてほしい。
- 今日は小学生向きのリライトの仕方だったと思う。地球学校で多く通ってきている中学生向きのリライトのしかた、又は指導の留意点についても学びたいと思った。研修の機会があったら出てみたいと思う。
- 実践的でとてもよかった。リライト、音読譜の意味を初めて学んだ。どうもありがとうございました。
- どこまで省略するか難しい。
- 先生のお話も興味深く、即実践に役立ちそうな具体的なお話でとてもわかりやすかった。ワークもグループの方達と話し合いながら楽しく活動できた。絵が上手くなって紙カードなど作れたらと思った。
- 初期指導から早く学校の授業についていかれるように手助けする大切さを実感した。リライトは初体験だったが、国語の世界の奥深さをのぞいたような気がした。
- **rewrite** の作業は大変なことだ。が、外国のお子さんに限らず、学力の低いお子さん方のために是非ひろまっていけばよいと思った。
- レベル0でできる語彙、文型理解とリライト教材の要求レベルとのズレが気になった。リライトでやればいいだけでなく、算数・数学も学年レベルに追い付くようにやってほしいと思う。(今日のテーマではないが、「これだけやればいい」と思われたら困るので。) リライト教材を使って「国語教育」をすることが目的なのだろうか？ リライト教材を日本語教育の読解教材の観点と「読む力」を伸ばすための多読教材に位置付けることも重要であると思う。

1. この講座を何で知りましたか。（初参加の方のみ記入）3名

①チラシ（地球学校で）	0
②地球学校または地球学校ホームページ	0
③メールチェーンで	0
内訳・YOKEの横浜国際交流ML 子どもメール	
④その他【会員（知人）からの紹介】	3
その他・会員	0

※①②と無回答は地球学校会員からの回答

2. 参加の動機は何ですか？（初参加の方のみ）（複数回答可）

①仕事のため	3
②ボランティア活動に活かすため	1
③これから活動を始めるため	0
④その他 （英語教室で学力の低い子どもに教える参考として）	0
無回答（会員）	0

※ 複数回答あり

3. 現在「外国につながる子どもたちの日本語支援」をしていますか。（初参加の方のみ）

はい	3
いいえ	0
無回答（会員）	0

「はい」とお答えの方にうかがいます。

（1）どのように活動していますか。（複数回答あり）

①マンツーマンで	2
②グループで	1
③その他（コーディネーター）	0
無回答	0

（2）どこで活動していますか。（複数回答あり）

①学校の日本語教室	3
②地域の日本語教室	0
③教室以外の外国人支援活動	0
④その他	0
無回答	0

4. 内容はいかがでしたか。(全員)

①大変役に立った	12
②役に立った	2
③普通	0
④あまり役に立たなかった	0
⑤役に立たなかった	0

大変役に立った（役に立った）と思った点

- 子どもが「分かった」と言っている、本当にわかっているのか確認の必要があること。目で見てわかる状態にして説明することが大事。言葉だけでは不十分。
- 友達を作る言葉、常体と「ですます体」同時導入など、具体的で大変参考になりました。
- 子どもの立場に立った目線でたくさんのポイントを教えていただいたと思います。
- いろいろな場面で使われている日本語。心して教えたいと感じました。
- 教科書の文章をその骨組みを取り出してまとめさせるという学習活動を入れることが学習理解を進めるということ。
- 教科書の骨組みづくり→もう一度説明する、文章を直すことが大切だということに気が付きました。
- （講演の）最後の、教科書の書き換えが子どもに内容を理解してもらう方法として特に役立ちました。
- 実際の事例や体験等が多く含まれていて、飽きなかった。ワークショップを通じ骨組みを作ることの重要性がわかった。
- 具体的な事例紹介が多く、大変勉強になりました。数字ゲーム、教科書の骨組みなど、実践してみたいです。
- 「なあに」の指導など、改めて子どもが実際にいかに使えるようにするかという点でとても勉強になりました。骨組みの作成もとても勉強になりました。
- 子どもの状況に合わせてさまざまな工夫をしている点がとても参考になりました。
- 子どもたちの話す日本語とテキストの日本語のバランス、両方の必要性について。
- 子ども視点になって指導していくことの重要性を改めて感じました。「これなあに」は実際に私もやりたいと思います。
- 限られた時間の中で子どもたちに何をさしだして日本語の初期指導をすればよいか、ただカリキュラムにそって指導するだけでなく、真に大切なことを改めて確認することができました。

5. その他、何かお気付きの点、感想、ご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。

- 貴重なお話をありがとうございました。ですます体の指導が中心でマニュアル通りだったことを反省し、生きた日本語を教えたいと思います。楽しかったです。
- （講師の自己紹介で）転校生の経験が多いことが興味深かった。
- 具体的な教え方や子どもがわからない、誤解する箇所をいくつもあげていただき、今後役に立てようと思いました。
- 松尾先生が困っている生徒さんの目線に立っていらっしゃることに感銘を受けました。
- 教科書を整理して見せるところまでは出来ても本人の言葉で文にするのは至難の技だ感じました。
- 地球っ子教室でも先生が名札をつけるといいのでは？